安全データシート

1。 製品及び会社情報

製品名	CMC 404 H
製品コード	455068-BE01
SDS 番号	455068
供給者	ビーピー・ジャパン株式会社 マリン ルブリカンツ 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎 イーストタワー20F 電話番号 03-5719-7930 (受付時間:平日 月曜日～金曜日 9:00～17:00) ファクス番号 03-5435-2260
緊急連絡先	ケアケム: 03-4578-9341 (24時間受付) (海外から: +81 3 4578 9341)

物質または混合物の確認された用途および警告される用途

物質/製剤の使用方法	添加剤。 具体的な用途についてのアドバイスは、「テクニカルデータシート」を参照するか、またはお客様窓口にお問い合わせください。

2。 危険有害性の要約

GHS分類

皮膚腐食性/刺激性 - 区分 2
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性 - 区分 1
生殖毒性 (受精能) - 区分 1B
水生毒性(急性) - 区分 3
水生毒性(慢性) - 区分 3

GHSラベル要素

危険有害性の絵文字

注意喚起語: 危険

危険有害性情報

H318 - 重篤な眼の損傷。
H315 - 皮膚刺激。
H360 - 生殖能に障害を与えるおそれ。
H412 - 長期的影響により水生生物に有害。

注意書き

安全対策

P201 - 使用前に取扱説明書を入手すること。
P202 - 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
P281 - 指定された個人用保護具を使用すること。
P280 - 保護手袋を着用すること。保護眼鏡または保護面を着用すること。
P273 - 環境への放出を避けること。
P264 - 取扱い後はよく手を洗うこと。

応急措置

P308 + P313 - 暴露または暴露の懸念がある場合: 医師の手当てを受けること。
P302 + P352 + P362-2 + P363 - 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。汚染された衣類を脱ぐこと。汚染された衣類を再使用す場合には洗濯をすること。
P332 + P313 - 皮膚刺激が生じた場合: 医師の手当てを受けること。
P305 + P351 + P338 + P310 - 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。ただちに医師に連絡すること。

保管

P405 - 施錠して保管すること。

廃棄

P501 - 内容物および容器を現地、地域、国および国際的規則に従って廃棄すること。

2。 危険有害性の要約

分類されていない他の危険有害性　　皮膚の脱脂。

3。 組成及び成分情報

物質、混合物の区別　　混合物

高精製ベースオイル (IP 346 DMSO 抽出物 < 3%). 添加剤。

表示成分	%	CAS 番号	官報公示整理番号（化審法）	労働安全衛生法
基油-高度精製	≥25 - <50	多くの種類	(9)-1692	168
スルホン酸カルシウム	≥10 - <25	115733-10-3	データなし。	データなし。
HOB カルシウム分岐アルキルフェノキシド硫化物	≥10 - <25	90480-91-4	データなし。	データなし。
ベンゼンスルホン酸、モノ-C16-24-分岐アルキル誘導体, カルシウム	≥6 - <10	70024-69-0	(3)-1949	データなし。
ジアルキル ジチオリン酸亜鉛	≥6 - <10	68457-79-4	データなし。	データなし。
基油-高度精製	≥3 - <5	64742-65-0	(9)-1692	168
アルキル化フェノール	≥1.1 - <3	74499-35-7 / 132752-19-3	データなし。	データなし。
アルカリ ポリエーテル	≥1 - <3	123464-54-0	データなし。	データなし。
基油-高度精製	≥1 - <3	多くの種類	(9)-1692	168
長鎖アルキルスルホン酸カルシウム	≥0.3 - <1	所有者	データなし。	データなし。

本製品の補足的な成分の中には、現在の知識の範囲および該当する濃度において、このセクションで報告が義務づけられている健康または環境に対して有害危険性であると分類される成分は含まれていません。

暴露限界がある場合、セクション8に記載されている。

4。 応急措置

必要な応急処置の説明

目に入った場合　　接触した場合、直ちに多量の水で15分以上洗眼する。 まぶたを眼球から離して持ち上げ、よくすすいでください。 コンタクトレンズの有無を確認し、着用している場合にははずす。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 直ちに医師の診断を受ける。

吸入した場合　　もし吸入したら、新鮮な空気のある場所に移動させる。 直ちに医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合　　接触した場合、直ちに汚染された衣服および靴を脱ぐと同時に多量の水で皮膚を15分以上洗浄する。 皮膚を石鹸と水で洗浄するか、または認定された皮膚洗浄剤を使用する。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 衣類は、再着用の前に洗濯する。 靴は再使用前に十分に洗浄する。 直ちに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　　医師の指示がない限り、吐かせてはならない。 意識がない場合、決して口からものを与えてはならない。 意識がない場合、昏睡位（うつ伏せで顔をやや横向き）にして直ちに医師の診断を受けさせる。 化学品による火傷はすみやかに医師による手当てを受けなければならない。 直ちに医師の診断を受ける。

最も重要な急性および遅発性の症状/影響

健康への影響と症状の詳細については、セクション11を参照。

必要に応じた速やかな医師の手当てと必要とされる特別な処置の指示

応急措置をする者の保護　　人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 煙霧が残存している疑いがある場合、救助隊は適切なマスクあるいは自給式呼吸器を着用しなければならない。 救助者が口移し人工呼吸で蘇生術を行うと、救助者に危険がおよぶことがある。 汚染された衣服を取り除く前に汚染された衣服を水で十分に洗うか、または手袋を着用する。

医師に対する特別注意事項　　処置はおおむね対症療法とし、作用を和らげるようにすること。

5。 火災時の措置

消火剤

適切	泡沫消火剤あるいは汎用化学消火剤で消火する。
不適切	ウォータージェットを使用してはならない。
特定の危険有害性	本物質によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。 火災の際や加熱された場合、圧力の上昇が起こり容器が破裂することがある。 本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。
有害な熱分解生成物	燃焼生成物には、下記の物質が含まれる可能性があります 燐酸化物 金属酸化物 炭素酸化物 (CO、CO_2) 酸化硫黄 (SO, SO_2...)
消防士用の特別な防具と予防措置	火災が発生したら、すみやかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。 人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。
消火を行う者の保護	消火を行う者は自給式呼吸器および完全防火服を着用すること。

6。 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

緊急時要員以外の人員用	人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない行動は行ってはならない。 周辺地域の人々を避難させる。 関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。 漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。 蒸気やミストを呼吸しない。 十分な換気を行う。 適切な個人保護装置を着用する。 床が滑りやすい場合があります。転ばないように注意してください。 救急隊に連絡してください。
緊急時の責任者用	適切な呼吸器保護用の機器と安全な作業システムなしに、蒸気、霧、煙霧で汚染された密閉された場所、または換気が悪い場所に入るのは非常に危険です. 自給式呼吸器を着用して下さい。 適切な化学物質用保護服を着用してください。 化学薬品からの保護用のブーツ。「緊急時要員以外の人員用」の情報も参照。
環境に対する注意事項	漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。 製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起したときは、関係する行政当局に報告する。 水質汚染物質である。 大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。

封じ込めおよび浄化の方法・機材

少量流出	危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。
大量流出	危険性がなければ、漏れを止める。 漏出区域から容器を移動する。 流出現場には風上から近づくこと。 下水溝、水路、地下室または密閉された場所への侵入を防止する。 本製品がこぼれたら、砂、土、ﾊﾞｰﾐｷｭﾗｲﾄ、珪藻土等の非可燃性の吸収剤でこぼれを封じ込めた後、容器に集め、現地法に基づき廃棄する。 漏出物を吸い取った吸収剤は、漏出した製品と同じ危険性を引き起こすことがある。 許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。 海上に流出した場合、管轄の政府・規制機関によって承認された場合、承認されている分散剤を使用することができる。

7。 取扱い及び保管上の注意

保護措置	適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。 眼、皮膚および衣類に触れないようにする。 流出物への接触と、土壌や表層水への流出を避ける。 摂取してはならない。 容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。 使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。 容器を再利用してはならない。 蒸気やミストを呼吸しない。 当物質の通常の取り扱い中に呼吸器官への有害危険性が存在する場合は、必ず適切な換気装置を使用するか、あるいは適切な呼吸用保護具を着用する。 暴露を避けること－使用前に取扱説明書を入手すること。 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 妊娠中は暴露を避ける。
一般的な職業衛生に関する助言	本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での 飲食および喫煙は厳禁。 取扱い後は、十分に洗浄する。 飲食区域に入る前に汚染した衣類と保護具を脱ぐこと。 同様にセクション8の衛生措置に関する追加情報も参照。

7。 取扱い及び保管上の注意

安全に保管するための注意事項	現地の法規制に従って保管する。 元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を避け、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保管する。 施錠して保管すること。 使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。 この製品のために設計されている装置/容器でのみ保管および使用してください。 いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。 ラベルのない容器に保管してはならない。 環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。
不適切	長期高温暴露.。

8。 暴露防止及び保護措置

許容濃度

曝露限界

表示成分	暴露限界値
基油-高度精製	**日本産業衛生学会 (日本)。** OEL-M: 3 mg/m³ 8 時間。発行済み/改定済み: 1/1977 形状: ミスト
基油-高度精製	**日本産業衛生学会 (日本)。** OEL-M: 3 mg/m³ 8 時間。発行済み/改定済み: 1/1977 形状: ミスト
基油-高度精製	**日本産業衛生学会 (日本)。** OEL-M: 3 mg/m³ 8 時間。発行済み/改定済み: 1/1977 形状: ミスト

推奨される測定方法	当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い、換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。 適切な監視規格を参照しなければならない。 危険有害性物質の定量法に関する国の指針文書を参照することも必要になる。
適切な技術的管理	暴露に対する制御を十分に施すため、化学物質を扱うすべての活動について健康に対する危険性を評価する必要があります。個人向けの防御装置の着用は、それ以外の制御手段(機械的な制御など)が施されていることを十分に評価してから検討してください。個人用保護具は、適切な標準規格に準拠しており、使用に適し、良好な状態に保たれ、適切に維持管理されていなければなりません。 選択および適切な標準規格に関してはお使いの個人用保護具の業者にご相談ください。詳細については、当該国の標準機構に照会してください。 排気または他の工学的管理を施し、それぞれの大気中の濃度をそれぞれの職業上の暴露限度以下に維持すること。 最終的な保護具の選択はリスクアセスメントによって決まります。個人用保護具のすべてのアイテムに適合性があることを確認することは重要です。
環境暴露管理	換気装置および作業工程装置からの排出物を検査し、環境保護の法律規制の要件に適合していることを確認しなければならない。 場合によっては排出物を許容レベル以下に下げるために煙霧清浄機やフィルター、あるいは行程装置の技術的改良が必要になることもある。

取扱者の保護措置

衛生対策	化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙、およびトイレの使用前、さらに作業時間の最後に、両手、両腕の肘から手首までの部分、また顔を充分に洗う。 汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。 汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。 作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合は、適当な呼吸保護具を着用する。 呼吸器保護のための正しい選択は処理される化学物、作業および利用状況、呼吸機器の状態により異なります。安全な方法がそれぞれ目的とする利用法ごとに開発されなければなりません。したがって呼吸器保護装置はサプライヤー/メーカーに相談の上、作業情況を十分に評価して選択しなければなりません。
手の保護具	長時間または繰り返し接触する可能性がある場合は保護手袋を着用すること。 耐薬品性の手袋を着用してください。 推奨: ニトリル製手袋。 保護手袋は、使用する化学物質、作業条件および使用条件、手袋の状態(最も優れた化学的耐性を持つ手袋であっても、化学物質に何度も暴露されることによって傷みます)によって、適したものを選択します。ほとんどの手袋は、短期間しか保護できず、廃棄および交換が必要になります。使用環境および物質の取扱い方法は場合によって異なるため、安全手順は使用目的ごとに決まります。そのため、手袋を選択する際は、供給者または製造業者に相談し、作業条件を十分に評価した上で選択してください。
目の保護具	耐化学物質飛沫よけゴーグル。

8。 暴露防止及び保護措置

皮膚の保護	保護服の使用は、良い産業訓練です。 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならず、さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。 綿またはポリエステル/綿のオーバーオールは、皮膚まで浸透しない軽い表面的な汚染に対してのみ保護を提供します。オーバーオールは定期的に洗濯してください。皮膚暴露の危険性が高い場合（例えば、流出物を掃除する場合または飛び跳ねる危険性がある場合など）は、耐薬品性のエプロンおよび/または不浸透性の化学防護服およびブーツが必要となります。

9。 物理的及び化学的性質

外観	
物理的状態	液体。
色	データなし。
臭い	データなし。
引火点	密閉式: 160°C (320°F) [ペンスキー･マルテンス]
自然発火温度	データなし。
爆発（燃焼）限界の上限および下限	データなし。
爆発限界	データなし。
蒸気圧	データなし。
蒸気密度	データなし。
揮発性	データなし。
蒸発速度	データなし。
臨界温度	データなし。
酸化的性質	データなし。
粘度	動粘度: 450 mm^2/s (450 cSt) @ 40°C 動粘度: 25 mm^2/s (25 cSt) @ 100°C
pH	データなし。
沸点 / 範囲	データなし。
融点 / 範囲	データなし。
液滴点	データなし。
比重	データなし。
密度	>1000 kg/m^3 (>1 g/cm^3) @ 15°C
溶解度	水に不溶。
常温での溶解性(g/l)	データなし。
分散性	データなし。
分配係数 (LogKow)	データなし。
備考	データなし。

10。安定性及び反応性

反応性	この生成物に関する利用可能な特定の試験データはありません。 追加の情報については、避けるべき条件と不適格な物質に関するセクションを参照してください。
化学的安定性	製品は安定である。
危険な反応の可能性	通常の貯蔵および使用条件下では、有害な反応は起こらない。 通常の保管および使用条件の下では、有害な重合は起こらない。
避けるべき条件	いかなる発火源（火花あるいは炎）にも近づけてはならない。
混触危険物質	次の物質と反応あるいは不適合: 酸化剤。
危険有害な分解生成物	通常の保管及び使用条件下では、危険な分解生成物は生成されない。

11。有害性情報

呼吸に対する危険有害性

名称	結果
基油-高度精製	吸引性呼吸器有害性 - 区分 1

可能性のある暴露経路についての情報　予想される侵入経路: 皮膚、吸入した場合。

起こりうる急性毒性

目に入った場合　重篤な眼の損傷。
吸入した場合　呼吸器系に対して非常に刺激性のあるガスや蒸気、粉塵を放出することがある。
皮膚に付着した場合　皮膚刺激。 皮膚の脱脂。
飲み込んだ場合　口、喉および胃に火傷を起こすことがある。

物理的・化学的および毒物学的な特性に関連する症状

目に入った場合　有害症状には以下の症状が含まれる:
痛み
流涙
発赤
吸入した場合　熱分解による蒸気、ミスト、煙霧に暴露吸入した場合、有害である可能性があります。
皮膚に付着した場合　有害症状には以下の症状が含まれる:
刺激
発赤
乾燥肌
ひびわれ
飲み込んだ場合　有害症状には以下の症状が含まれる:
胃痛

遅発性および即時性の影響ならびに短期および長期の暴露による慢性的な影響

起こりうる慢性毒性

概要　重大な作用や危険有害性は知られていない。
発がん性　重大な作用や危険有害性は知られていない。
変異原性　重大な作用や危険有害性は知られていない。
催奇形性　重大な作用や危険有害性は知られていない。
発育への影響　重大な作用や危険有害性は知られていない。
生殖能力に対する影響　生殖能に障害を与えるおそれ。

毒性の数値化

急性毒性の推定

データなし。

12。環境影響情報

環境作用　本製品は水生生物に対して有害であり、長期にわたり持続する影響を有する。
残留性および分解性　生物分解性とみなされている。
生物濃縮の可能性　この製品は、環境中の食物連鎖による生体間蓄積は起こらないと予想されている。
移動性　流出物は土壌にしみこみ地下水を汚染する可能性があります。
その他の生態学的情報　流出は水面に膜を形成し、生命体の身体的損傷の原因となる可能性があります。酸素移動も充分に機能しない可能性があります。

13。廃棄上の注意

廃棄方法

廃棄物の発生は避けるか、あるいは可能な限り少なくする必要がある。 大量の老廃物質残渣は、下水設備を通して廃棄してはならず、適切な廃水処理施設で処理しなければならない。 余剰またはリサイクルできない製品は許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処理する。 この製品、製品の溶液およびあらゆる副生成物の処分は、常に環境保護および廃棄物処理に関する法律の定める要求事項、および現地法の定める要求事項に従わなければならない。 不要な包装材料は再利用しなければならない。 焼却または埋め立ては、再利用が不可能な場合にのみ検討すべきである。 この材料およびその容器は安全な方法で廃棄しなければならない。 清掃または洗浄されていない空容器を取り扱う際には注意しなければならない。 空の容器や中袋に製品が残留している可能性がある。 漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。

14。輸送上の注意

	IMDG	IATA
国連番号	規定なし。	規定なし。
UN正式輸送品目名	-	-
輸送危険有害性クラス	-	-
パッキンググループ	-	-
環境有害性	該当せず。	該当せず。
追加情報	-	-

使用者のための特別な予防措置　データなし。

15。適用法令

消防法

危険物区分　第4類:第四石油類　指定数量　6000 L

危険等級　三

労働安全衛生法

ラベルに関する規定

該当せず。

名称等を通知すべき危険物及び有害物

表示成分	リスト上の名前	CAS 番号	濃度	状況	政令番号
基油-高度精製	鉱油		27.9 - 45.469	該当	168
エチレングリコール	エチレングリコール	107-21-1	0.66	該当	75
基油-高度精製	鉱油	64742-65-0	0.0479 - 4.79	該当	168
基油-高度精製	鉱油		1.43	該当	168

化学物質排出把握管理促進法(PRTR)

該当せず。

このMSDSは改正PRTR法に対応しています。

その他の規定

日本インベントリー(ENCS)(既存及び新規化学物質)　全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

15。適用法令

米国インベントリー(TSCA 8b)(有害物質規制法　8b)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
REACH状況	セクション1で指定している会社は、この製品をEU域内において、現在のREACHの要件に従って製造しています。
オーストラリア化学物質インベントリー(AICS)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
カナダインベントリー	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
中国インベントリー(IECSC)(中国既存化学物質インベントリー)	記載されていない成分がある。
韓国インベントリー (KECI)(韓国既存化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
フィリピンインベントリー (PICCS)(フィリピン化学品および化学物質インベントリー)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。
台湾のインベントリー(CSNN)	全ての成分は表示されているかあるいは免除されている。

16。その他の情報

履歴

発行日/改訂版の日付	26/05/2015.
前作成日	15/05/2014.
作成者	Product Stewardship
	日本における略号キーは下記の通りです。 GHS = グローバル・ハーモナイズド・システム CAS番号 = ケミカルアブストラクトサービス登録番号 ISHL = 産業上の安全・健康に関する法 OSHL = 職業上の安全・健康に関する法 PRTR = 特定化学物質の環境への放出に関する報告とその管理改善促進に関する法 ENCS = 既存および新規化学物質 METI = 経済・通商・産業省 OEL = 職業上の被曝制限 JSOH = 日本産業衛生学会 TWA = 時間加重平均 STEL = 短時間被曝制限 IMDG = 物品の海上輸送に関する国際海事機関規則 IATA = 国際航空協会 UN Number = 国連番号、危険物品の輸送に関する国連専門家委員会によって割り当てられた4桁の番号

前バージョンから変更された情報を指摘する。

注意事項

本データシートは正確を期する為に、あらゆる実用的な手段を講じており、本データシートに含まれる健康、安全および環境情報は資料発行日において正確なものです。しかしながら、本データシートに記載されているデータおよび情報の正確性や完全性に対して何らの保障をするものではありません。記載されたアプリケーション以外の製品を BP グループからの指導なく利用することはできません。

本製品を安全に使用し、すべての法律および規定に準拠することは、取り扱う事業者の責任です。弊社は使用者の特別な用途での使用、注意事項の無視、または材料固有の性質により生じた障害や損傷には責任を負いません。業務用として他の事業者に本製品を提供する購入者は、本製品の使用者に本データシートの情報を提供するために必要なあらゆる手段をとる義務があります。本製品を取り扱う事業所の事業主は、本データシートに記載されている危険性および従うべき注意事項について、関わりのある従業員および関係者に通知する義務があります。BP グループに連絡して、この文書が最新版であることを確認できます。この文書に変更を加えることは固く禁じられています。